令和元年度進捗評価シート

奈良市歴史的風致維持向上計画（平成27年2月23日認定）

（最終変更平成31年3月29日）

□進捗評価シート（様式1）

①組織体制（様式１－１）
1 計画の実施・推進体制 …… 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策（様式1-2）
1 景観計画 …… 2

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項（様式1-3）
1 国宝春日大社本社本殿ほか13棟保存修理事業（平成28年度で事業完了）
2 史跡興福寺旧境内保存修理事業 …… 3
3 都市景観形成地区建造物保存整備事業(修理事業)（平成28年度で事業終了）
4 都市景観形成地区建造物保存整備事業(修景事業) …… 4
5 町家建物内部改修モデル事業（平成27年度で事業終了）
6 奈良町町家バンク事業 …… 5
7 文化財調査事業 …… 6
8 三条線電線類美化事業 …… 7
9 猿沢線街路整備事業 …… 8
10 歴史的風致形成建造物保存整備事業 …… 9
11 ナラ枯れ等対策事業 …… 10
12 奈良のシカ保護育成事業 …… 11
13 伝統的建築文化継承事業 …… 12
14 なら工藝館活用事業 …… 13
15 伝統祭礼・行事助成事業 …… 14
16 奈良大茶会珠光茶会開催事業 …… 15
17 春日大社写生会及び清書会開催支援事業 …… 16
18 なら国際映画祭・ならシネマテーク開催支援事業 …… 17
19 入江泰吉記念写真賞・ならPHOTO CONTEST開催支援事業…… 18
20 入江泰吉旧居活用事業 …… 19
21 奈良町にぎわいの家活用事業 …… 20
22 観光案内板整備事業 …… 21
23 文化財解説板整備事業 …… 22
24 奈良まちかど博物館事業 …… 23
25 観光客誘致事業(奈良町にぎわい事業) …… 24
26 史料保存館活用事業 …… 25
27 文化財講座開催事業 …… 26
28 奈良町おもてなし事業(平成30年度で事業終了) ……
29 地域の伝統行事発信事業 …… 27
④文化財の保存又は活用に関する事項（様式1-4）
1 文化財調査、指定 …… 28
2 文化財の修理(整備)、管理、周辺環境の保全 …… 29
3 文化財の防災 …… 30
4 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など …… 31

⑤効果・影響等に関する報道（様式1-5）
「おん祭保存会」高円宮殿下記念地域伝統芸能賞　県関係者初受賞 …… 32

⑥その他（効果等）（様式1-6）
1「観光の振興」に向けた官民協働の取組 …… 33

□法定協議会等におけるコメントシート（様式2） …… 34

進捗評価シート　（様式1-1）

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
計画の実施・推進体制	□実施済 ■実施中 □未着手

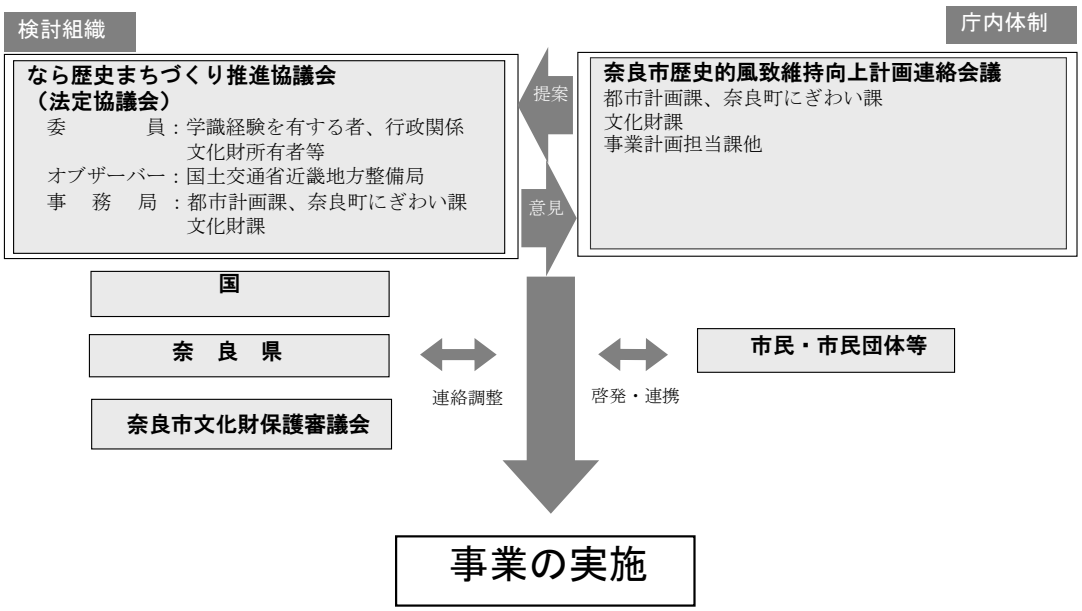
計画に記載している内容	景観まちづくりの担当部局である都市整備部都市計画課、観光担当部局である観光経済部奈良町にぎわい課、文化財保護担当部局である教育部文化財課を中心とした庁内組織である「奈良市歴史的風致維持向上計画連絡会議」と、学識経験者らで構成される「なら歴史まちづくり推進協議会」が連絡調整をおこないながら事業を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和元年2月25日に「なら歴史まちづくり推進協議会」を開催した。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



なら歴史まちづくり推進協議会の様子
（令和2年2月25日撮影）

進捗評価シート　（様式1-2）

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
景観計画	□実施済 ■実施中 □未着手
計画に記載している内容	奈良市景観計画においては、市全域を景観計画区域に指定し、景観形成の方針やデザインガイドラインを定めている。また、元興寺周辺については奈良町歴史的景観形成重点地区に指定し、歴史的な町並みに配慮したきめ細かな景観の誘導を図っている。また、三条通り、大宮通りを沿道景観形成重点地区、近鉄奈良駅周辺とJR奈良駅周辺はまちなか景観形成重点地区に指定し、都市的な景観と歴史的な景観との調和を図っている。

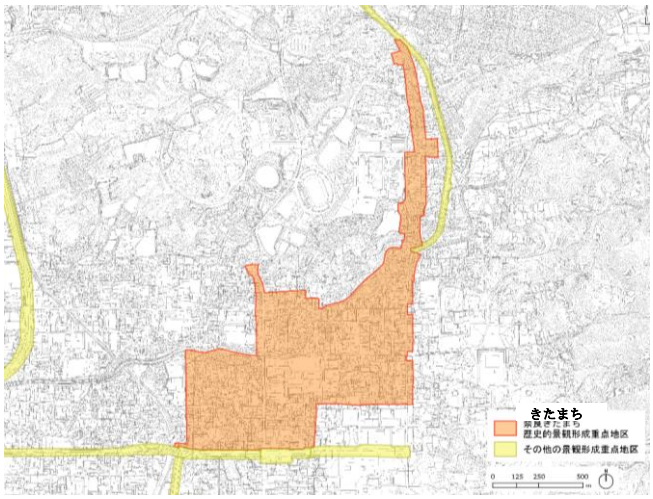
定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

奈良市眺望景観保全活用計画に基づく眺望保全、また奈良町の歴史的風致の維持向上をより効果的に推進するため、現在の地区を拡大し、「ならまち歴史的景観形成重点地区」並びに「きたまち歴史的景観形成重点地区」の追加指定を含む景観計画の改正を平成28年度に行った。なお、「奈良町都市景観形成地区」の令和元年度の届出数は、19件であった。

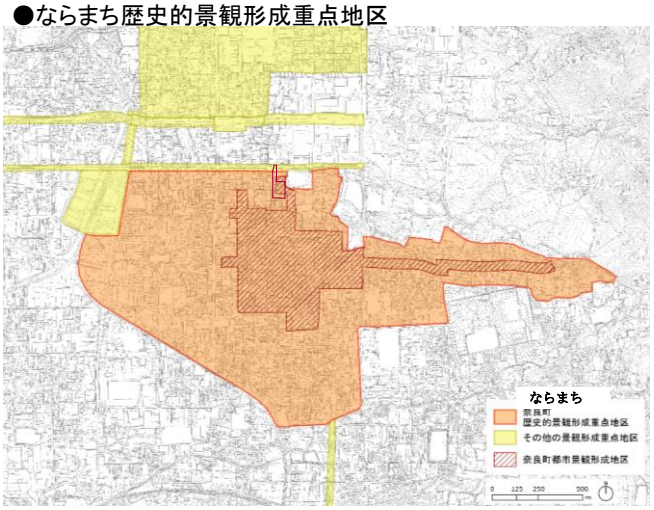
進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●きたまち歴史的景観形成重点地区



●ならまち歴史的景観形成重点地区



● 奈良市を代表する眺望景観

大池からの眺望

平城宮跡からの眺望

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
史跡興福寺旧境内保存修理事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成10年度～令和6年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存活用事業費補助金、県単独事業(奈良県文化財保存事業費補助金)、市単独事業(奈良市文化財保存事業費補助金)
計画に記載している内容	興福寺旧境内の主要堂宇地区及びその周辺地区において、遺構等の保存・活用整備を行う。発掘調査を実施し、その成果に基づいて基壇の復元や表示による整備を行う他、案内板、解説板、管理用の柵や門等の整備を行う。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

本事業に対し、文化財の保存が適正に行われるよう補助金を交付。
事業内容：令和元年度は、中金堂前庭の園路（参道）・雨水排水設置工事を施工。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	整備については、史跡整備検討委員会に諮り、現状変更等許可申請を文化庁に申請し、実施方法・史跡の影響などについて協議を行っている。

状況を示す写真や資料等

中金堂前庭の園路（参道）工事　（令和2年3月31日撮影）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
都市景観形成地区建造物保存整備事業（修景事業）	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成 6年度～令和2年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 平成23年度～令和2年度、単独事業　平成6年度～
計画に記載している内容	奈良町都市景観形成地区内の歴史的な町並み景観を保全するため、空き地などに景観形成基準に適合する建築物や工作物を新築するときに、修景事業とし補助金を交付する。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

平成28年度は2件実施し、累計で63件となったが、平成29年度、平成30年度、令和元年度は応募がなかったため実施していない。
平成29年度の補助要綱改正により、修景内容について地域で活躍する建築士から意見を聴取し、より良い内容で修景できるよう制度を整えた。応募には至らなかったが、令和元年度実施予定だった1件について、制度が利用された。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画どおり進捗している ■計画どおり進捗していない	相談実績はあるものの最終的に補助金の応募につながらないことが多く、応募方法や応募期間等の見直しを検討している。

状況を示す写真や資料等

●令和元年度補助実績

なし

●過去の修景工事例

工事前（平成28年6月15日撮影）

工事後（平成28年12月7日撮影）

実施年度	所　在　地	用　途	主な修景内容	補 助 額(円)	補 助 率
平成28年度	奈良市今御門町	店舗	屋根工事、塗装工事 建具取替	3,742,000	50%

評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
奈良町町家バンク事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成23年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	登録したい人への説明会や登録物件の測量、町家の改修・活用事例の紹介、貸主と借主の仲介などを行う。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

町家バンクの登録希望者に対しては随時面接を実施して制度について説明をしたのち、登録を行っている。利用希望者に対しては現地説明会を実施、貸主と借主の引き合わせを行っている。併せて、登録物件の調査を行い、ホームページで公開するほか、奈良町内の空き家調査を実施した。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●町家バンクの登録状況　※件数は平成23年7月～の累計数、（ ）内は令和元年4月～の累計数

登録物件数　　31件（1件）
利用希望者数　316件（19件）
成約数　　19件（1件）

●成約物件の活用事例　※件数は平成23年7月～の累計数、（ ）内は令和元年4月～の累計数

住居　　3件（1件）
店舗　　9件（0件）
ゲストハウス　3件（0件）
カルチャー教室　3件（0件）
工房　　1件（0件）

成約物件写真（令和元年12月成約）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
文化財調査事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	歴史資料調査　平成8年度～　近世近代建造物調査　平成24年度～　庭園調査　平成24年度～
支援事業名	市単独事業（庭園調査は奈良市と奈良文化財研究所）
計画に記載している内容	未指定・未登録文化財の調査及び資料収集を行い、その実態把握に努め、指定・登録など今後の保護を推進するための基礎資料を作成する。歴史資料調査、近世近代建造物調査、庭園調査等を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

＜歴史資料調査＞大宮家文書の調査を実施
＜近世近代建造物調査＞民家1件の詳細調査を実施。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

近世近代建造物調査
（令和元年5月24日撮影）

評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
三条線電線類美化事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成27年度～令和6年度
支援事業名	市単独事業、防災・安全交付金の活用を検討（平成28年度～令和6年度）
計画に記載している内容	三条通の上三条町から登大路町までの区間（延長約800m）の電線類の地中化を行う。

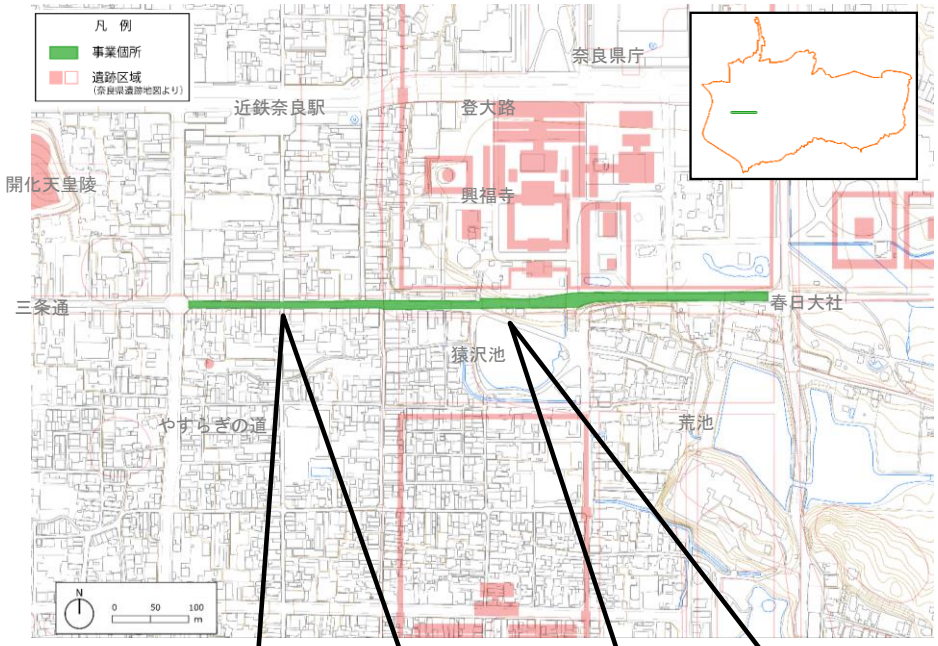
定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

平成29年度以降第一期工区猿沢池西側から一の鳥居前まで。L=400m片側を関係者と協議を行い計画を進めてきたが、各管理者との協議の中で枝管の調査も必要となり、枝管の調査のため委託延長を100m追加し、L=500mに委託延長を変更した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●三条線電線位置図（緑着色部分）



上三条町周辺　(平成31年1月16日撮影)

猿沢池周辺(平成31年1月16日撮影)

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
猿沢線街路整備事業	□実施済 □実施中 ■未着手
事業期間	平成27年度～令和6年度
支援事業名	市単独事業、防災・安全交付金（街路事業）の活用を検討
計画に記載している内容	猿沢線の鶴福院町区間（延長120m）の道路拡幅を行う。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

地元でまちづくり研究会が立ち上がり、道路拡幅も含めたまちづくりについて話し合いが行なわれている。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	地元まちづくり研究会の動向を伺う。

状況を示す写真や資料等

●現況写真

猿沢線南側(平成31年1月16日撮影)

猿沢線北側(平成31年1月16日撮影)

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
歴史的風致形成建造物保存整備事業（修理事業）	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成27年度～令和2年度　（平成27、28年度は、奈良町都市景観形成地区を除いた範囲で実施）
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)　平成23年度～令和2年度
計画に記載している内容	奈良町及び奈良公園地区内にある、建築物の外観修理に対して補助金を交付する。奈良町都市景観形成地区以外に点在している、歴史的建造物資産をいかに保存活用するかが大きな課題であり、その課題に戦略的に取り組む。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

平成29年度から補助要綱を改正し、教育委員会や民間団体と連携し、修理内容の質の担保に努めた。平成30年度からは解体中の痕跡調査を実施し、建物の痕跡等の記録を残すなど、歴史的風致の維持向上に努めている。
令和年元度は9件の助成を行った（累計28件）。そのうち、4件は空き家等で未利用だったが、当該事業を機に内部改修等も実施されるなど、歴史的建造物の利活用が促進された。（利活用が促進された物件累計数11件）

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

	所在地	用途		内容	補助額（円）	補助率
		事業前	事業後			
1	紀寺町	住宅	住宅	外壁塗替、木部補修	2,704,000	80%
2	川之上突抜北方町	住宅 兼店舗	住宅 兼店舗	外装塗替、木部補修	4,752,000	80%
3	中新屋町	門塀・蔵	門塀・蔵	屋根葺替、外壁塗替ほか	4,994,000	80%
4	高畑町	塀 （空き家）	塀 （宿泊施設）	屋根葺替、外壁塗替ほか	1,463,000	80%
5	北京終町	空き家	社務所	屋根葺替、外壁塗装ほか	6,138,000	80%
6	花園町	空き家	住宅 兼店舗	屋根葺替、外観復原ほか	7,381,000	80%
7	紀寺町	事務所	住宅 兼店舗	屋根葺替、外観復原ほか	5,875,200	80%
8	南市町	空き家	店舗	屋根葺替、外観復原ほか	9,756,720	80%
9	高畑町	住宅	住宅 兼店舗	屋根葺替、外観復原ほか	4,862,000	80%

※補助額は補助対象部分の修理に要する経費に補助率を乗じた額。

●修理工事例　（令和元年度）

修理前　(平成29年4月25日撮影)

修理後　(令和元年12月11日撮影)

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

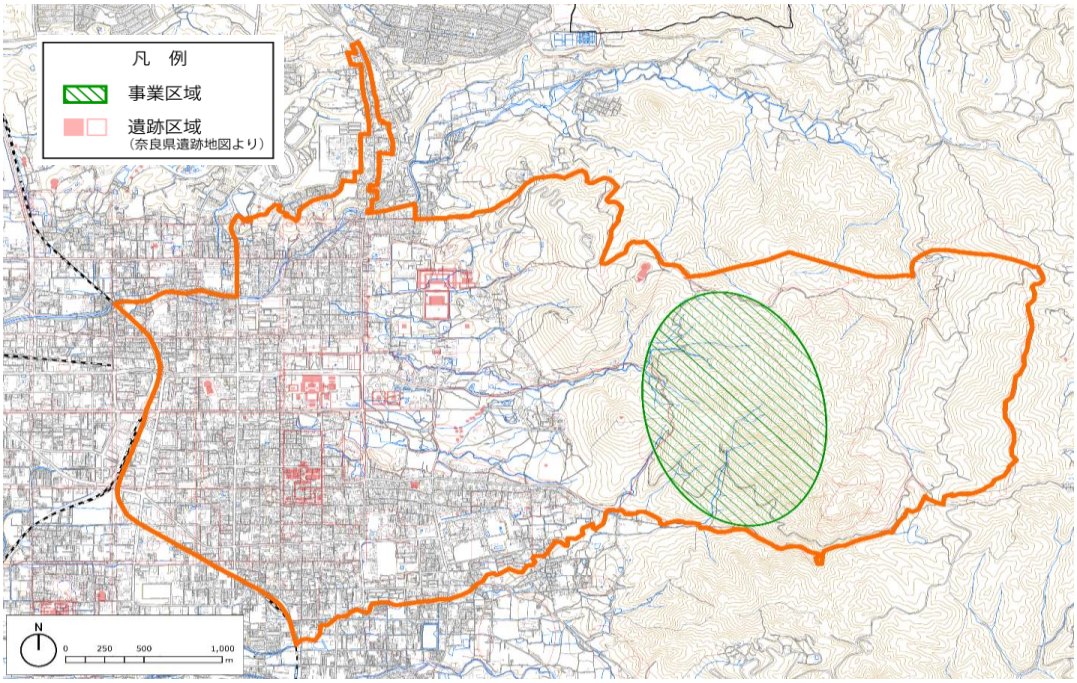
評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
ナラ枯れ等対策事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	毎年
支援事業名	県単独事業
計画に記載している内容	ナラ枯れや鹿害への対策を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

平成22年8月に春日山原始林周辺で現地調査を実施した結果、ナラ枯れ被害を確認した。ナラ枯れ被害対策として、平成22年度に138本、平成23年度に363本、平成24年度に1,267本、平成25年度2,220本、平成26年度1,177本の駆除及び防除を実施した。平成27年度から令和元年度においては、奈良県が航空機による調査を実施したところ、ナラ枯れ被害が減少しており、鹿害についても防護柵を設置する等の対策により被害が減少している。

	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



春日山原始林周辺のナラ枯れの変化の様子（奈良県提供）

(平成27年5月撮影)

(令和元年9月撮影)

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
奈良のシカ保護育成事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	毎年
支援事業名	県・市・春日大社共同事業
計画に記載している内容	一般社団法人奈良の鹿愛護会や鹿サポーターズクラブへの補助を行い、頭数調査などの調査研究、負傷・疾病鹿の救助、巡回パトロール、人と鹿の共生のための各種イベント、角伐りなどの伝統行事を行う。 また、鹿の生態調査、鹿の啓発看板設置などを行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

奈良のシカの生態調査のため、頭数調査を行った。負傷・疾病シカの救助、保護を実施することで奈良のシカの健全な育成を推進した。鹿寄せや、鹿の角きり等の行事、イベントを実施し、シカを身近に感じてもらい、奈良のシカ保護育成への啓発を行った。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

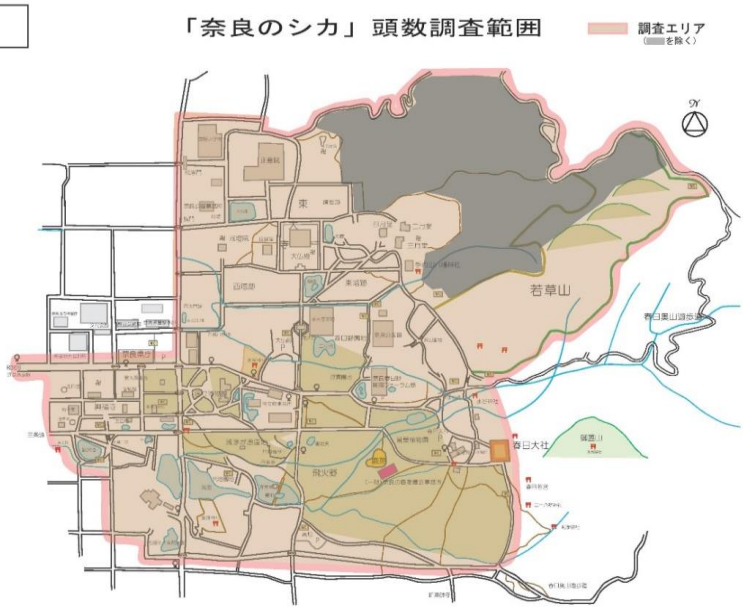
状況を示す写真や資料等

●令和元年度「奈良のシカ」生息頭数調査
・調査日時　令和元年7月15日・16日 午前5時～8時
・調査地域奈良公園域内（図面参照）
・調査人員延べ72人

〇奈良公園の鹿の総数1,681頭
（うち鹿苑内収容頭数293頭）
（令和元年7月16日現在）
①奈良公園内生息頭数
総頭数1,388頭（前年比+28）
オス357頭（前年比+2）
メス756頭（前年比-12）
子鹿275頭（前年比+37）
②鹿苑内保護収容頭数
総頭数293頭（前年比+20）
オス170頭（前年比+10）
メス123頭（前年比+10）

鹿の角きり行事　(令和元年10月撮影)

参考資料



評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
伝統的建築文化継承事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成27年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	奈良の伝統的な社寺や町家等に用いられている建築技術の保存に向けたノウハウを伝え、後継者を育成するための講座の開催、建築の伝統的な技法に関する相談窓口の開催、また具体的に町家の修理や活用の実践などを行う。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

公益社団法人日本建築家協会JIA文化修復塾・近畿支部保存再生会の「JIA文化財修復塾近畿支部現地講習」を令和2年2月8日に奈良町物語館で開催した。保存すべき文化的価値の高い建造物等の発掘・把握事業、保存に向けての啓発事業、保存に伴う技術の継承と方策提案事業、修理、改修・利活用についての講座を行った。（参加者27人）

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

JIA建築修復塾　現地講座の様子　(令和2年2月8日撮影)

評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
なら工藝館活用事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成12年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	奈良の工芸である漆器、一刀彫、赤膚焼、乾漆、古楽面、筆、墨、奈良晒、鹿角細工等の作品や制作道具等を展示する。また、伝統工芸品の斡旋販売も行う。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

計画に記載している内容のほか、定期的に制作実演や制作体験を行っており、レンタルギャラリースペースでは作家や趣味の団体による展示会も頻繁に行われている。特に年に1回正倉院展の時期に合わせて開催される「奈良工芸フェスティバル」ではたくさんの来場者でにぎわっており、伝統工芸の観点から奈良の歴史的風致の維持及び向上に役立っている。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	予算が限られている中で、近年は常設展示を入れ替え、近畿展や珠光茶会にあわせた茶道具作品の特別展などを行い入館者数の増加を図っている。

状況を示す写真や資料等

（参考）過去3年間の入館者数
平成28年度　48,360人
平成29年度　47,007人
平成30年度　47,198人
令和元年度　 41,944人

若手作家による制作実演の様子

(令和元年10月30日撮影)

(令和元年10月28日撮影)

●制作体験教室
過去3年間の参加者数
平成28年度　450人
平成29年度　466人
平成30年度　522人
令和元年度　 195人

制作体験教室の様子

(令和元年11月3日撮影)

(令和元年11月3日撮影)

●奈良工芸フェスティバル
過去3年間の入場者数
平成28年度　5,453人
平成29年度　5,514人
平成30年度　5,774人
令和元年度　6,417人

奈良工芸フェスティバル　展示・販売の様子

(令和元年11月3日撮影)

(令和元年11月3日撮影)

評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
伝統祭礼・行事助成事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	毎年
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	伝統祭礼・行事である春日若宮おん祭、薪御能、采女祭等を行う団体に助成する。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

奈良市観光協会より伝統行事の保存会等へ補助金を交付することで、各種行事を実施し、多くの市民及び観光客等に、伝統文化を身近に触れてもらう機会を提供した。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●春日若宮おん祭（奈良市観光協会より助成）
【主催】春日若宮おん祭保存会
令和元年12月15日：大宿所詣、御湯立、大宿所祭
令和元年12月16日：大和士宵宮詣、田楽座宵宮詣、宵宮祭
令和元年12月17日：遷幸の儀、暁祭、本殿祭、お渡り式、
（人出110,000人）　南大門交名の儀、松の下式、競馬、
お旅所祭、稚児流鏑馬、神楽、東遊、
田楽、細男、猿楽、舞楽、和舞、還幸の儀
令和元年12月18日：奉納相撲、後宴能

おん祭お渡り式
(令和元年12月17日撮影)

●薪御能（奈良市観光協会より助成）
【主催】薪御能保存会
令和元年5月17日：　・咒師走の儀（金春流能「翁」）
・南大門の儀（観世流能「老松　紅梅殿」、大藏流狂言「千鳥」、金剛流能「鵜飼」）
令和元年5月18日：　・御社上の儀（金春流能「田村」）
（人出1,700人）　・南大門の儀（金春流能「羽衣」、大藏流狂言「太刀奪」、宝生流能「草薙」）

●采女祭（奈良市観光協会より助成）
【主催】采女祭保存会
令和元年9月13日開催　・花扇奉納行列
（人出18,000人）　・花扇奉納神事
・管絃船の儀

管絃船の儀　(令和元年9月13日撮影)

花扇奉納行列　(令和元年9月13日撮影)

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-16
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
奈良大茶会珠光茶会開催事業	■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	平成25年度～
支援事業名	観光戦略課と奈良市観光協会で珠光茶会実行委員会の事務局を担当
計画に記載している内容	茶道の源流ともいえる奈良の地で、「わび茶」を創始した奈良出身の珠光にちなみ、「奈良大茶会珠光茶会」を開催する。お茶席の開催だけでなく、その他のお茶に関する企画等も行う。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

ならまち地区で元興寺、奈良町にぎわいの家等でお茶席を開催した。来場者数　第一回（平成25年度）約5,900人、第二回（平成26年度）約7,400人、第三回（平成27年度）約9,400人、第四回（平成28年度）約8,400人、第五回（平成29年度）約8,300人、第六回（平成30年度）約6,700人、第七回（令和元年度）約5,400人であった。閑散期である冬の時期に全国各地から多くの方にお越しいただいており、成功している事業であると考えている。

	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	茶会にお越しいただいた方にならまちを周遊していただけるよう検討していく。

状況を示す写真や資料等

第七回珠光茶会　元興寺　裏千家　　(令和2年2月6日撮影)

第七回珠光茶会　奈良町にぎわいの家　吉川宗文社中　　(令和2年2月9日撮影)

●第七回奈良大茶会　珠光茶会　令和2年2月5日～9日

参加社寺：春日大社、東大寺、元興寺、大安寺、西大寺、唐招提寺、薬師寺、法華寺

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-17
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年
項目	現在の状況
春日大社写生会及び清書会開催支援事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成14年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	世界遺産春日大社で開催される写生会及び清書会に対する助成を行う。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和元年度は写生会に約170名、清書会に約231名の参加があった。
世界遺産である春日大社の境内において、子どもたちを対象に文化活動の場を提供できた。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	令和2年度は公募により、文化振興補助金の交付事業として選定されたため、補助金を交付する。

状況を示す写真や資料等

清書会（令和元年7月24日撮影）

写生会（令和元年7月20日撮影）

評価軸③-18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
なら国際映画祭開催支援事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	なら国際映画祭　平成24年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	なら国際映画祭では、プロジェクションアートや新人監督作品や学生映画作品などの上映を行う。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和元年度は「なら国際映画祭2019プレイベント」がならまちセンターで開催され、約750人の動員があった。イベント当日は、ユース映画制作ワークショップで制作された映画が上映されたほか、ユース審査員として9名の中高生が映画9本を審査、白熱した議論が繰り広げられた。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	令和2年度は公募により、文化振興補助金の交付事業として選定されたため、補助金を交付する。奈良市心のふるさと応援寄附補助金については継続して交付する。

状況を示す写真や資料等

ユース審査員プログラム上映（令和元年9月16日撮影）

評価軸③-19
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
入江泰吉記念写真賞・ならPHOTO CONTEST開催支援事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成25年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	入江泰吉氏の写真芸術は、奈良市民の誇りであるとともに、奈良市にとって貴重な財産であり、それらを活かしながら、文化振興計画及び創造都市の理念に基づいた文化政策を達成するため、2年に一度入江泰吉記念写真賞及びなら PHOTO CONTESTを開催する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

平成30年度に第三回入江泰吉記念写真賞および第三回なら PHOTO CONTESTの受賞作品が決定したことを受け、第三回入江賞受賞作品写真集「真鍋奈央「波を綴る」」の販売取扱店への営業活動を行い受賞者を支援するとともに、第三回なら PHOTO CONTEST受賞作品巡回展を奈良県内と東京都にて行い事業の周知を図った。
また、第四回実施へ向けて、実行委員会を開催し募集要項の決定、広報媒体の作成等次回準備を進めた。
継続して事業実施をすることで、奈良を代表する写真家・入江氏の功績を顕彰するとともに、本市の写真文化のさらなる発展に寄与する事業である。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	継続実施するなかで、本賞への支援者をより増やすことのできる企画を検討・実施する必要がある。

状況を示す写真や資料等

第三回なら PHOTO CONTEST受賞作品巡回展
（東京・奈良まほろば館/令和元年9月19日撮影）

第三回なら PHOTO CONTEST受賞作品巡回展
（奈良・かしはらナビプラザ/令和元年9月5日撮影）

●第四回入江泰吉記念写真賞、第四回なら PHOTO CONTEST　広報活動

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-20
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
入江泰吉旧居活用事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成26年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	平成27年3月に開館する「入江泰吉旧居」において、文化講座や暗室の活用等の事業を行う。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和元年度は38件の事業を実施し、延べ330人の参加があった。
事業は写真家・入江泰吉を偲ぶことのできる講演や、周辺の歴史文化を学ぶことのできる講座等を開催した。
これらの事業により、入江泰吉旧居を歴史的風致向上施設として有効に活用できた。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画通り進捗している □計画どおり進捗していない	今後も継続して実施していく。

状況を示す写真や資料等

親子ピンホール教室（令和元年8月3日撮影）

はじめの一句（令和元年9月21日撮影）

大和路撮影考（令和元年4月14日撮影）

評価軸③-21
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
奈良町にぎわいの家活用事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成27年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	地域の方々が、集い、楽しみ、伝えあう地域コミュニティの活動拠点とするとともに、奈良町観光の拠点の一つとして、外国人や修学旅行生などの文化交流の体験施設として活用し、さらには、大学とコラボレーションすることにより、茶道や伝統行事等の奈良町文化の発信基地とする。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

大正6年に建築された旧大西家住宅を修理・改修し、平成27年4月18日から奈良町にぎわいの家として一般公開しており、令和元年度も一般公開した。
町家の空間を活かしたイベントや伝統行事等の実施により、奈良町文化の発信及び継承に寄与した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●令和元年度実施事業の例
体験イベント（計96回　2,071人）
　季節行事　5回　　20人
　四季の料理　4回　134人
　茶会　6回　228人
　くらし・文化体験など　　34回　1,041人
　絵手紙・そろばん・水墨画体験など　47回　648人
講座（計21回　317人）
　二十四節気講座　3回　28人
　奈良町の風習　　7回　150人
　町家講座　4回　67人
　暮らしの歌（短歌）　3回　31人
　気軽に学び講座（仏像）　　1回　10人
　その他　3回　31人

その他（計64回　210人）
　展示（花・アート展）など　63回　209人
　町家相談会　　1回　1人

くらし・文化体験イベント
はじめての盆石体験　(平成31年4月13日撮影)

くらし・文化講座
ビギナーさんの着物講座　(令和元年11月30日撮影)

展示
二十四節気パネル展　(平成31年4月26日撮影)

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-22
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
観光案内板整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成25年度～令和6年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)（奈良町及び奈良公園重点地区内)、市単独事業(奈良町及び奈良公園重点地区外)
計画に記載している内容	観光案内板の設置

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和元年度は、京終エリアに観光名所解説看板を3基、指示標識を2基設置し、ならまちエリアの指示標識を2基リニューアルした。（平成25年度からの新規設置数（累計）は、観光案内看板18基、観光名所解説看板23基、指示標識4基）
また、平成28年度より運用を開始したQRコードによる観光案内板等多言語化の充実を図り、「きたまち」を紹介するコードを新たに作成、ステッカーを観光案内看板に設置した。（多言語は11言語に対応）

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●令和元年度　観光案内看板・観光名所解説看板設置実績

No.	設置場所（施設名等）	種別
1	飛鳥神社（北京終町）	観光名所解説看板
2	椚神社（肘塚町）	
3	上街道（肘塚町）	
4	市内循環道路・奈良市道北部376号線　交差点（北京終町）	指示標識（新規）
5	奈良市道北部305号線・北部376号線　交差点（北京終町）	
6	京終駅（南京終町）	
7	奈良市北部340号線・317号線　交差点（肘塚町）	
8	登大路バスターミナル前（登大路町）	指示標識（更新）
9	近鉄奈良駅（東向北町）	

●観光名所解説板・指示標識設置事

N0.2　(令和2年4月9日撮影)

N0.5　(令和2年4月9日撮影)

●多言語対応QRコードステッカー貼り付け状況

転害門前観光案内看板のステッカー　（令和2年3月26日撮影）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-23
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
文化財解説板整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	毎年
支援事業名	市単独事業(県文化資源活用補助金を活用)
計画に記載している内容	指定・登録文化財の内容や価値を解説する文化財解説板を設置する。(毎年3箇所程度)

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

市内の指定文化財等の内容や価値を周知し、その保存活用について理解と関心を深めてもらうために、所在地に対象文化財の内容説明文を中心に、周辺文化財を含めた位置図ならびに外国語（英・中・韓）による名称表記を添えた解説板を設置している。令和元年度には6基を製作し、平成19年度に現行形式での解説板設置を始めて以降の設置数は64基となる。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

奈良市指定文化財（春日神社拝殿(舞台)）解説板

評価軸③-24
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
奈良まちかど博物館事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成15年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	いままでの博物館とは違い、地域の人たちがボランティアの館長として仕事場の一角や個人の収集品等を公開し、地域の伝統の技や文化に触れる機会を提供する。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

奈良きたまち地区は平成15年度に10館が開館（平成26年度に2館が開館）、ならまち地区は平成21年度に20館が開館（26年度に2館が閉館、28年度に2館が閉館、29年度に1館が開館）している。
また、平成28年度から各館長にアンケートを実施し、内容をイラストMAPに反映させ毎年更新するなど、令和元年度も事業のよりよい運営を行った。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●きたまちまちかど博物館MAP

●ならまちまちかど博物館MAP

評価軸③-25
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
観光客誘致事業（奈良町にぎわい事業）	■実施済 □実施中 □未着手

事業期間	毎年
支援事業名	市単独事業、集約促進景観・歴史的風致形成推進事業（平成28年度）
計画に記載している内容	ならまちの夜の魅力を発信するとともに観光客が奈良市内で宿泊する動機づけを高めることを目的とした「真夏の元興寺寄席」を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

課題である日帰り客が多い現状を打開するため、奈良市内での宿泊が必須と思われる国内遠方で広報の拡充と、西日本旅客鉄道株式会社に依頼し、大和路線及び学研都市の各駅へのチラシの設置を行った。県外からの来場者数は全体の25%であった。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●令和元年度　真夏の元興寺寄席　実施状況

演目：落語・講談

開催日時	参加人数
令和元年7月26日（金）、27日（日）、8月2日（金）、3日（土）	286人

真夏の怪談元興寺寄席
チラシ

会場の様子　(令和元年7月26日撮影)

会場の様子　(令和元年7月26日撮影)

会場の様子　(令和元年7月26日撮影)

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-26
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
史料保存館活用事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	毎年
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	館蔵品を活用し、古文書や絵図等の展示や講座を開催する。（企画展示2回、スポット展示5回、歴史講座1～2回程度）また、奈良町の歴史・文化資料の利活用促進のため、館蔵品のデジタルアーカイブ化を行い、ウェブ上で公開する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

館蔵の歴史資料を活用した企画展示を5回、スポット展示の後継である特別陳列「ならまち歳時記」12回、館蔵史料特別公開を4回、歴史ミニ講座7回、また周辺施設や団体との共催事業として、奈良町にぎわいの家での出張展示3回、展示テーマにちなむ解説付きガイドツアー（観光ボランティアの会と共催）4回、奈良町の古文書等をテキストにした古文書講座（連続2回）を開催。この他ならまちわらべうたフェスタに参加し、大和のわらべうた資料の紹介を行った。これらを通して、歴史と文化を活かしたまちづくりへの理解を深める機会とした。

	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●「企画展示」　（人数）

古絵図をみる－奈良の絵図いろいろ－	4月23日(火)	～ 7月21日(日)	10,637人
史料が語る戦時下の奈良町	7月23日(火)	～10月 6日(日)	7,606人
奈良奉行梶野良材と奈良	10月 8日(火)	～ 1月 5日(日)	8,777人
新収蔵史料紹介－近代の奈良町新知見－	1月 7日(火)	～ 3月 1日(日)	4,348人
昭和の奈良町の仏像研究家の足跡　太田古朴・仏像修理研究資料展示	3月 3日(火)	～ 3月31日(火)	2,058人

●「特別陳列　ならまち歳時記」・「館蔵史料特別公開」

奈良の桜	4月 2日(火)	～ 4月30日(火)	2,984人
薪能	5月 1日(水)	～ 5月26日(日)	4,087人
春日太々神楽/奈良の鹿	5月28日(火)	～ 6月30日(日)	3,390人
地蔵講	7月 2日(火)	～ 8月 4日(日)	3,429人
山上講/奈良奉行と万燈籠	8月 6日(火)	～ 9月 1日(日)	2,944人
尾花座	9月 3日(火)	～ 9月29日(日)	2,654人
鹿の角きり	10月 1日(火)	～10月19日(土)	1,701人
奈良の紅葉	10月22日(火)	～11月24日(日)	4,372人
春日若宮おん祭	11月26日(火)	～12月22日(日)	2,255人
奈良暦	12月24日(火)	～ 1月26日(日)	2,772人
近世奈良の茶人　久保権太夫（長闇堂）/市章誕生	1月28日(火)	～ 2月24日(月)	1,922人
春日大社の御田植行事/月ヶ瀬梅渓	2月26日(水)	～ 3月31日(火)	2,402人
※大和のわらべうた資料紹介（わらべうたフェスタ参加企画）		10月20日(日)	370人

企画展示　展示解説
（令和2年1月12日撮影）

●「奈良町歴史ミニ講座－古文書・古絵図に親しもう」

奈良の人々と能－近代の薪能再興を巡って－	5月25日(土)	9人
絵馬－三条村野神絵馬－	6月22日(土)	9人
江戸時代の奈良町の人が見たオーロラ	9月28日(土)	6人
橋本町の高札－キリシタン札－	10月26日(土)	9人
大塩平八郎の乱－人相書きのお触れ－	11月23日(土)	10人
初春に迎えるもの－歳神・万歳・牛玉札－	12月21日(土)	7人
新聞史料をひもとく－近代奈良の女性医師－	1月25日(土)	10人
元興寺五重塔焼失	2月22日(土)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
富岡鉄斎と月ヶ瀬梅渓	3月28日(土)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

●出張展示「タイムトラベル奈良町」

古絵図をみる	6月16日(日)	180人
史料が語る戦時下の奈良町	8月25日(日)	140人
奈良奉行梶野良材と奈良	12月 7日(土)	149人
新収蔵史料紹介－近代の奈良町新知見－	3月 1日(日)	中止

●解説付ガイドツアー

もっと知りたい“奈良町の地蔵講”	7月23日(火)	46人
もっと知りたい“正倉院と奈良奉行”	11月 3日(日)	52人
もっと知りたい“春日若宮おん祭”	12月15日(日)	94人
もっと知りたい“奈良町と陰陽師”	1月19日(日)	79人

奈良町にぎわいの家　出張展示
（令和元年6月16日撮影）

●講座

古文書入門講座	2月9日(日)	24人 ・ 2月16日(日)	21人
昭和の奈良町の仏像研究家の足跡　太田古朴・仏像修理研究資料展示関連講座・見学	3月12日(木)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-29
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
地域の伝統行事発信事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成30年度～令和2年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	奈良町で継承されてきた民間信仰（春日講、伊勢講、地蔵講、庚申講、観音講など）に由来する伝統行事やお祭りなど、地域住民が主体的に取り組んでいる行事を調査し、発信する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和元年度は、寺院や地域住民が主体的に取り組んでいる行事（地蔵盆）について、寺院43件に電話による聞き取り調査を実施し、そのうちの8件と地域住民が実施する地蔵盆43件の51件で現地調査を実施した。調査内容をもとに、地域住民、観光客向けの冊子を作成した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●現地調査の様子

興善院町　(令和元年7月23日撮影)

●行事当日の様子

念聲寺　(令和元年7月23日撮影)

八軒町　(令和元年7月23日撮影)

●作成した冊子（一部）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-27
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
文化財講座開催事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	毎年
支援事業名	市単独事業（一部共催）
計画に記載している内容	市民を対象に、文化財についての理解を深める講座を開催する。 ・市内各地域の文化財が対象となるよう計画する。・市指定文化財を活用する。・成人向け講座と小学生とその保護者向け講座を開催する。・内容に応じて、講義・現地見学・体験を適宜組み合わせる。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

・奈良市文化財講座「奈良の文化財をもっと知る講座2019」

(1) 9月 8日「文化財講演会「経済史からみる奈良時代の社会」」	参加者	42名
(2) 10月20日「大和高原の芸能と舞台建築」	参加者	27名
(3) 10月27日「昔のくらし体験～かまどでごはんを炊こう！～」	参加者（小学生・保護者）	16名
(4) 11月17日「弘仁寺見学 ～仏像と赤膚焼香炉～」	参加者	11名
(5) 11月24日「宮跡庭園と近隣の庭を巡り歩く」	参加者	26名
(6) 1月26日「宮跡庭園園池修理見学会」	参加者	28名
(7) 3月 8日「“土づくり”からはじめる赤膚焼～一日窯元体験～」	参加者（小学生以上）	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

奈良市文化財講座(2)　（令和元年10月20日撮影）
「大和高原の芸能と舞台建築」

奈良市文化財講座(6)　（令和2年1月26日撮影）
「宮跡庭園園池修理見学会」

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
文化財調査、指定	□実施済 ■実施中 □未着手
計画に記載している内容	未指定文化財を中心に文化財基礎調査を実施 奈良市指定文化財の指定、登録文化財の登録

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

・(1)近世近代建造物調査、(2)月ヶ瀬・都祁地域指定文化財関連調査を計画に従い実施。
・各文化財分野で行ってきた調査の成果をもとに、市指定文化財に3件を新たに指定。登録文化財は、奈良町の町家等の登録を進めており、当市から10件(5か所)について新たに意見具申した。引き続き、候補物件の調査等を進めている。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

近世近代建造物調査
（令和元年5月24日撮影）

評価軸④-2
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
文化財の修理（整備）、管理、周辺環境の保全、など	□実施済 ■実施中 □未着手
計画に記載している内容	国宝春日大社本社本殿ほか13棟保存修理事業、史跡興福寺旧境内記念物保存修理、名勝旧大乗院庭園管理（名勝庭園荒廃防止）事業等、建造物や記念物の修理・整備事業の実施、ナラ枯れ対策などの取り組み

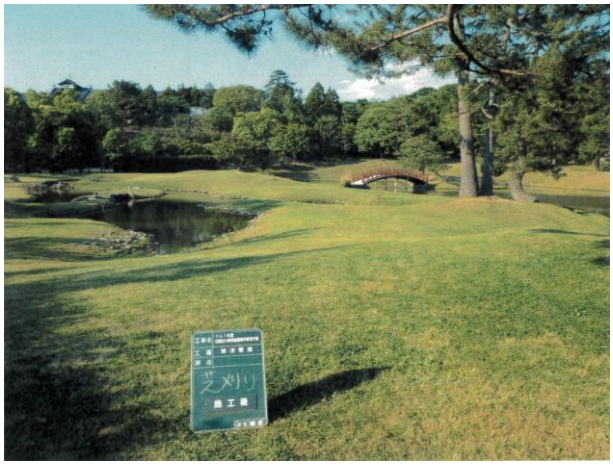
定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

評価軸③－2参照。
名勝旧大乗院庭園の管理（荒廃防止）事業に補助金交付。
国、県、市指定の建造物、記念物等の文化財（16件）と文化財保存公開施設（3か所）の管理（委託）。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

史跡興福寺旧境内記念物保存修理
評価軸③－2参照　（令和2年3月31日撮影）



名勝旧大乗院庭園管理（名勝庭園荒廃防止）事業
(令和元年6月7日撮影)

評価軸④-3
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
文化財の防災	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	興福寺の防災施設事業 自主防災体制の充実、強化を図るため、定期的に防災訓練や広報を実施 文化財所有者と合同の消防訓練等

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和2年1月20日・22日・24日・25日、5か所で消防局と文化財所有者の合同の文化財消防訓練を実施。
令和2年1月26日、「文化財防火ゼミナール」開催。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

文化財消防訓練　(令和2年1月22日撮影)
会場：奈良国立博物館

文化財防火ゼミナール　(令和2年1月26日撮影)
会場：旧奈良監獄　参加者：150名

評価軸④-4
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など	□実施済 ■実施中 □未着手
計画に記載している内容	文化財講座開催事業・文化財解説板整備事業・史料保存館活用事業 指定文化財の保存管理や継承を担っている団体に対して補助金を交付 団体と適宜連携し、市民と行政の協働による文化財の保存・活用を推進

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

評価軸③-23、③-26、③-27参照。
奈良市文化財講座の(3)は市教育委員会と奈良市生涯学習財団都跡公民館の共催（市教育委員会と赤膚山元窯保存会の共催の(7)は中止）。
令和元年度、文化財関係10団体に計7,130千円の文化財補助金を交付。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

評価軸③-23、③-26、③-27参照

奈良市文化財講座(3)　（令和元年10月27日撮影）
「昔のくらし体験 ～かまどでごはんを炊こう！～」　市民16人（小学生と保護者）

進捗評価シート　（様式1-5）

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

	評価対象年度	令和元年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
「おん祭保存会」高円宮殿下記念地域伝統芸能賞 県関係者初受賞	**平成31年3月12日**	奈良新聞

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

「おん祭保存会」は、多年にわたり地域伝統芸能の活用を通じ、観光又は商工業の振興に顕著な貢献をしたことが認められ、令和元年度に一般財団法人地域伝統芸能活用センターが実施している伝統芸能大賞において、高円宮殿下記念地域伝統芸能賞を受賞した。この内容が報道されることで、広く市民への周知につながっていると考える。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

「おん祭保存会」
高円宮殿下記念
地域伝統芸能賞

地域伝統芸能
大賞支援賞

丸尾万次郎さん

東京・地域伝統芸能活用センター

県関係者は初受賞

3/12

平成31年3月12日　奈良新聞朝刊

評価軸⑥-1
その他（効果等）

評価対象年度	令和元年度

項目

「観光の振興」に向けた官民協働の取組

計画に記載している内容	「ならまち賑わい構想」（平成4年策定）、「新奈良町にぎわい構想」（平成29年策定）を基に、奈良町を中心に歴史的風致を生かす観光振興に官民協働で取り組んでいる。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付*

ならまちにある公共施設、民間施設、企業、各種団体が、ならまち内の各会場で展示や模擬店を行う「ならまちわらべうたフェスタ」は、令和元年で27年目を迎えた。
また、地域住民やNPO団体との協働により運営されるまちかど観光案内所が新たに1か所オープンし、合計で3か所となった。

	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

●わらべうたフェスタ
「ならまちをわらべうたの似合うまちに」「ならまちからわらべうたを世界に発信しよう」を合言葉に、産官学民連携による実行委員会形式で開催し、毎年、20～30の団体が一体となり、ならまちの中に点在する様々な施設を活用し、わらべうたに歌われている情景や遊びのイベントブースを設け、界わいを回遊しながら楽しめるお祭りとして10月第3日曜日に実施。

わらべうたフェスタの様子 (令和元年10月20日撮影)

●まちかど案内所
地域住民による歴史的建造物の保存と利活用の要望により、地域の歴史観光資源として、官民が連携し地域住民等が運営するまちかど観光案内所を開設している。

・旧鍋屋交番きたまち案内所（奈良市きたまち鍋屋観光案内所）
元旧奈良警察署鍋屋連絡所（明治41年設置、昭和3年に現在の半田横町に移転）を修理し、きたまちの玄関口として、地域の観光案内や地域活動の活性化、大学の研究・教育拠点として利活用し、地域に根差したイベントも実施している。
（令和元年度：八重桜巡り153人、きたまち大学校は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

旧鍋屋交番きたまち案内所
（奈良市きたまち鍋屋観光案内所）

・奈良市きたまち転害門観光案内所
元南都銀行手貝支店だった建物を修理し、地域のまちづくり団体、ボランティアにより、地域の観光案内や地域活動の活性化などに利活用中。

奈良市きたまち転害門観光案内所

・京終駅観光案内所
JRの駅舎（明治31年建築）を改修し、地域のまちづくり団体により、駅の待合所と地域の観光案内所やカフェが併設した施設として利活用し、地域に根差したイベントも実施している。
（令和元年度：京終こども祭り約3,000人、結び音Act約120人）

京終駅観光案内所
京終こども祭りの様子
(令和元年11月9日撮影)

京終駅観光案内所

法定協議会等におけるコメント　（様式2）

評価対象年度	令和元年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 第10回　なら歴史まちづくり推進協議会	
会議等の開催日時： 令和2年2月25日（火） 午後2時30分～	
（コメントの概要） ・近年、観光案内の多言語化、デジタル化が活発に議論されているなか、奈良市として、取り組んでいることがあれば記載すること。また、今後どのように推進するのか、計画的に検討してもらいたい。	
（今後の対応方針等） ・観光案内所においては、JNTOの観光案内所のカテゴリーを取り、多言語対応している。また、観光案内板については、観光案内の多言語化のため、すでにならまち区域でQRコードによる多言語案内を実施している。きたまち区域については、今年度取り組んでいるためP21の観光案内板整備事業のシートに記載する。今後は、新たにQRコードの設置可能な場所を見つけて充実を図っていく予定である。	